

平成25年8月23日

篠山市長 酒井 隆明 様

篠山再生計画推進委員会  
委員長 中川 政和

### 篠山再生計画実行中の投資的事業にかかる意見について

篠山小学校耐震補強改修工事について、篠山再生計画推進委員会（以下、本委員会という。）において慎重に審議した結果、篠山再生計画実行中の投資的事業の選定に関する要領「事業の必要性、緊急性及び優先性が極めて高いこと。」、「事業を実施しても計画策定時の収支見通しより悪化するおそれがないこと。」の選定基準に適合することを確認しました。

しかし、財政収支見通しにおける平成32年度の財政安定まではまだまだ予断を許さない状況であるのが現実です。

なお、本委員会において、取りまとめました意見は下記のとおりです。

#### 記

1. 篠山再生計画実行中における総事業費756,102千円と非常に大規模な事業である。本投資的事業の計画から事業の進捗管理における各過程において、事業経費を少しでも節減するよう努められたい。
2. 大規模な投資的事業を実施する際には、それ相応の人的負担（人件費）、事務的負担（物件費）等の増加が見込まれることにも留意する必要がある。
3. 本来、このような安全性の確保を目的とする耐震改修と同時に実施される大規模の修繕及び改修事業が伴う場合、将来的な財政負担（維持管理経費等含む）の軽減ならびに施設の長寿命化策等についても十分考慮されるべきである。
4. 施設の計画においては、可能な限り児童数の増減や教育システムの変化等に柔軟に対応ができ、他校のモデルとなるよう、また地域に開かれた学校として、末永く親しまれ、活用される施設としていただきたい。
5. 本事業を含み、篠山市の公共施設においては、有効かつ適切に管理・運営していくことを合併算定替終了後の優先課題として、財政収支見通しに反映させていくべきである。